

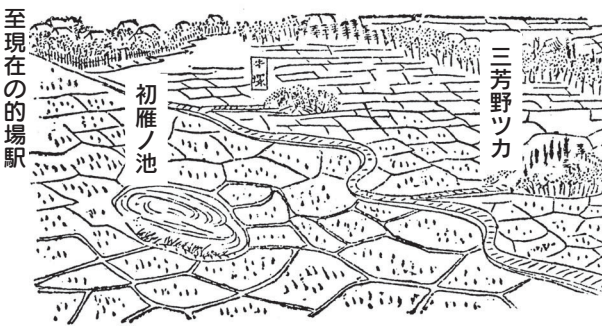
「初雁」がつなぐ川越の西と東

川越城は、「初雁城」とも呼ばれています。昔、城内の三芳野神社に、初雁の杉というみごとな杉の木がありました。北の空から飛んできた雁が、毎年その杉の上で、三声鳴きながら三度回って南の空に飛び去ったことから、初雁城と呼ばれるようになったといわれています。

実は、この話のもとになったと思われる伝説があります。かつて霞ヶ関東小学校辺りには、「初雁ノ池」と呼ばれるひょうたんの形をした大きな池がありました。そして、毎年南へ渡る雁が、必ず池の上を三度回って鳴き初めしてから旅立ったそうです。しかし江戸時代になると、ほとんどが埋められて水田になりました。池の近くには、初雁塚と三芳野塚という大きな塚がありました。

至現在の初雁橋

また、三芳野塚の近くには、天神社がありました。その天神社は、現在の場にある三芳野天満宮に移ったそうです。



幕末の書物に描かれた「初雁ノ池」周辺
(現在の的場・霞ヶ関東地区辺り)

幕末の書物を見ると、川越城は上戸にあった城を移したとか、城内の天神門など幾つかの門は、上戸から持ってきたと記されています。どこまでが史実かはわかりませんが、少なくとも幕末には、川越城ゆかりの地がこの辺りにあったと思われていたようです。

市税納期のお知らせ

10月は、市県民税第3期・国民健康保険税第4期の納期です。

忘れずに納めましょう。

問い合わせ…収税課収税管理担当・TEL 224-5686▶国民健康保険課国保収納担当・TEL224-5837

どんぐり

編集後記

広報川越では、祭りや花火の様子を写真でお伝えしています。視覚障害者の皆さんにもその様子をお伝えしようと、声の広報に昨年度から音を収録しています▶18日・19日に行われた川越まつり。おかめやひよっこなどが囃子に合わせて舞う様子、曳っかわせでの皆さんの表情をいかに表現しようかと、山車に近づいたりいろいろな方向から音を拾ったり……▶川越まつりの様子は、11月10日発行の広報川越・声の広報でお伝えします。(HA)

世界の国から、こんにちは！



インドネシア/アナン・ラクソノさん

首都ジャカルタの近くのバカシから、3年前に川越に来ました。バカシは、人口200万人ほどの大都市です。工業が発達していて、日本企業の工場もたくさんあります。

今は大学で経済学を勉強中です。寒さに慣れていないので、冬はつらいです。川越は、近代的な建物と伝統的な建物の両方があるいいですね。日本に来て驚いたのは、ほとんどの商店が夜8時ぐらいで閉店することです。インドネシアでは、夜は11時ぐらいまで営業していますよ。将来は、日本で学んだことを大学で教えたいです。
*外国籍市民の皆さんを対象にした催しは10ページ・16ページ、相談は22ページをご覧ください。

国際交流課・TEL224-5506